

熱中症対策

症例

部活動中や練習試合の最中に倒れたお子さんが来院されます。起き上がれないほどのお子さんはクーリング、点滴までやっています。翌日には元気になっています(電話で確認をしています)。先日来られたのは43歳女性です。最近になってパートの仕事を始めました。工場内で勤務です。カラダを動かす仕事なので体調は良くなったが、暑くて困ると。バテないようにと補中益気湯(ほちゅうえつきとう)を取りに来られました。それで調子が良かったのですが、先週工場内で熱中症になりました。頭痛、吐き気、嘔吐があり、かなりしんどかったと。仕事場は水分摂取は自由にできる環境だそうです。それでも熱中症になってしまったんですね。「何かいい漢方薬はありませんか?」と。私が推している、①白虎加人参湯(びゃっこかにんじんとう)+②五苓散(ごれいさん)を開始しました。高熱で顔がほてる、ノドが渇くなら水分をしっかり摂りながら漢方薬を飲んでもらいます。こういう状況では、漢方薬は、「冷服(れいふく)」です。冷たい水で飲んでもらいます。結構バテずに頑張れます。



1 (41) 補中益気湯(ほちゅうえつきとう)

1日2~3回飲み続けます。全身倦怠感(特に手足のだるさが目標)、食欲不振、無気力、食後の眠気、食事がおいしくない、味がわからない、動作が鈍い、話し方に力がない、目に勢がない etc があれば使ってみましょう。

2 (136) 清暑益気湯(せいしょえつきとう)

(41)補中益気湯の真夏バージョンです。乾燥を潤し、汗を減らし、元気が出ます。暑い高温の環境下で働く人、部活動をするお子さんにはこちらをおすすめします。

3 (34) 白虎化人参湯(びゃっこかにんじんとう)

ノドが渇く、顔がほてるならば使います。暑くて頭がボーッとすると、動けないときに飲み続けると暑いところでも動けます。冷たい水で飲むと良いです。

4 (17) 五苓散(ごれいさん)

これは大事な漢方薬です。吐き気、頭痛、嘔吐に有効です。熱中症のとき、脳の中は浮腫(ふしゅ)=むくみが起こっています。そのむくみを取って、症状を改善させます。冷たい水で飲むと良いです。

夏休みにできる検査

夏休みに院内でできる検査があります。一番多いのは「低身長」の検査です。あらかじめ外来をしていただき、検査ができる適応のある方のみ検査を受けることができます。その次に多いのは、生活習慣病健診、アレルギー検査、腎臓病の健診です。これらは血液検査です。血液をとることによって多くの情報がわかります。夏休みを利用して、他院で手術を受けるお子さんがいます。扁桃摘出術、そけいヘルニア(脱腸)、臍ヘルニアが多いです。大半は市民病院の先生方をお願いしています。



お知らせ

岐阜市の漢方外来 8月10日(土)

14:00-17:30 場所:中島小児科(岐阜市健康東町2-1) ※すべて「院外処方」となります。

小児夜間急病センター当番日 8月23日(金)

19:30-22:30(受付) 場所:岐阜市民病院にて

休診のお知らせ 8月13日(火)~15日(木) お盆休み
8月21日(水)、31日(土) 学会のため休みます。
よろしくお願いします。

夏祭りのお知らせ 8月24日(土)
恒例の夏祭りを開催します。
13:30-15:30(片付け終了)